

## 企業内実習のあり方

平成28年度において、全国の専修学校に向けた汎用的なガイドラインを作成するべく、各部会(施工部会、設計部会、マイスター部会)において、議論を重ねた結果、以下の通りとなった。本年度は、これらを踏まえた上で、企業内実習を行った。

### (1) 意義と課題の抽出

#### ●企業内実習意義(学校・学生側)

- ①現場の雰囲気を感じ、実際を知ることができる。
- ②職人は、何を考えて仕事をしているか学ぶことができる。
- ③現場の流れを理解することができる。
- ④他人との関係(ネットワーク)の必要性を知ることができる。
- ⑤仕事ができないことを実感する。
- ⑥自分の志望と実際の職場とのギャップに気づく。
- ⑦学校(授業)と社会(現場)の違いを知る。

#### ●企業内実習の課題(企業・学校側)

- ①企業側の学生評価をどのようにするか(担当者で意見交換、職長の指導、アンケート等)。
- ②社会生活上のマナーやルールを守る指導を徹底する(特に挨拶、遅刻等)。
- ③やる気、一所懸命さ、集中力等を重点的に指導する。
- ④授業時間で終わる指導から、課題解決で終わる指導へ。
- ⑤現場のルール、安全衛生法違反などについて、企業・学校が協力して指導する。
- ⑥長期企業内実習と単位認定、授業との関係を整理する。
- ⑦学校のカリキュラムとの関係から適切な実施時期を選定する。

### (2) 企業内様式の検討・活用(別冊:ガイドライン教育支援ツール参照)

#### ①企業内実習・安全チェック表

- ・不明確な部分を明確に改善した。

#### ②企業内実習活動日報

- ・日付と押印場所の変更をした。

#### ③企業内実習・評価表

- ・企業負担を軽減に配慮し、企業と学校の合同評価表とした。

### (3) 企業内実習期間

以下列記している企業内実習期間は、望ましい期間として各部会から意見が出た結果であるが、必ずしも望ましい期間での企業内実習を行うことはできない。現場の状況によって期間は異なることを認識しておくべきである。

#### ①施工

- ・4ヶ月間、週1回程度の現場実習の実施

#### ②設計

- ・最低1週間毎日連続で実施

#### ③マイスター(左官・大工)

- ・1週間毎日連続で実施